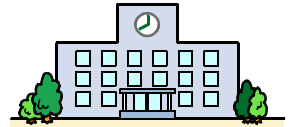


沼田市内の**全ての中学生**が、**多様なスポーツ・文化芸術活動**に親しめるよう、**部活動の地域展開(地域移行・地域連携)**により、学校や地域の実情に応じた持続可能な環境整備を進めます。

### 背景

学校だけでは  
部活の継続が  
困難に！

- 少子化の影響で生徒数が減少し、複数校で合同チームを編成している競技や、欠員のまま団体戦に出場する学校があるなど、従来の体制のまま部活動を運営することが難しくなっている。
- 学校規模によって設置している部活動数が異なり、スポーツ・文化芸術活動の体験機会の差が大きい。
- 土日に部活動指導に従事していることで、教員の負担が増加している。



### 目的

- (1) 全ての生徒が将来にわたって、自分のチャレンジしたいスポーツ・文化芸術活動に、継続的に取り組むことのできる環境を整備する。
- (2) 専門的な技術指導をできる方が、継続的に指導できる仕組みをつくる。
- (3) 中学生だけの活動ではなく、多世代交流によって地域を活性化させる。
- (4) 学校の働き方改革を推進し、学校教育の質の向上を図る。

### 沼田市における部活動改革で目指すこと

学校・家庭・地域の**連携・協働**により、**子供も大人も幸せを共有**できる**スポーツ・文化芸術活動の場**を創造し、**関わる全ての人の人間的な成長と地域の活性化**。

#### 方針1 自他を輝かせることのできる環境づくり

多種多様なスポーツ・文化芸術活動を選択できる。  
世代や性別の違い、障害の有無に拘わらず、共に活動し、人とのつながりを生む。

#### 方針2 質が高く、持続可能な環境づくり

安全・安心な活動ができる  
優れた指導者による、気付きを促し、成長に導く指導・支援を行う。  
家庭の経済的な負担等の軽減に配慮する。

#### 方針3 「心・技・体」の調和のとれた成長に寄り添う体制づくり

運営方針や活動計画等について、関係者全員で共通理解を図る。  
生徒との信頼関係を大切にし、互いに尊重しながら活動を進める。  
計画的に、休養日や活動時間等を設定する。

#### 方針4 心を磨く環境づくり

「心＝道徳性」の成長を大切にする「教育部活」の精神を重んじる。

## 具体的な取組

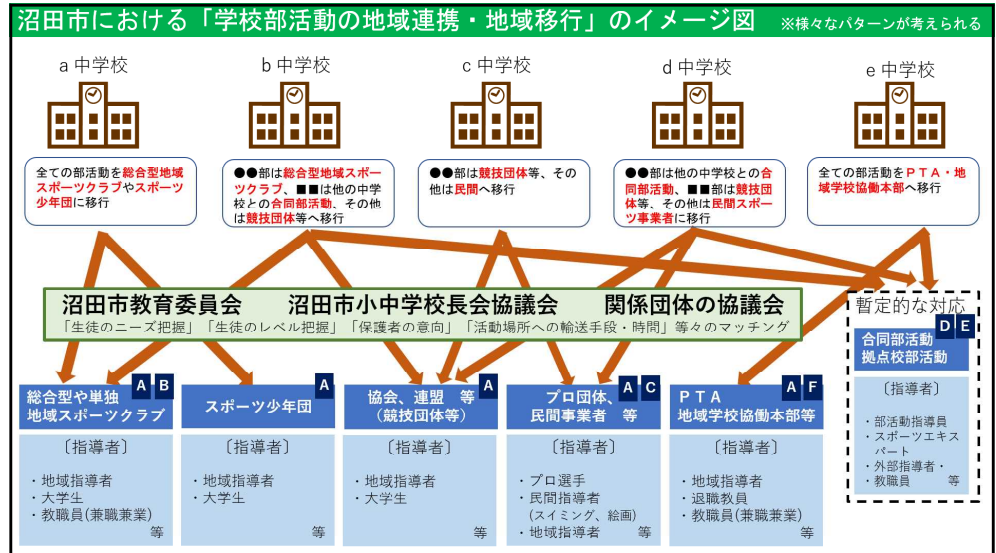
令和5～7年度が「改革推進期間」です。

令和5年度

- ・学校や生徒、保護者等のニーズの把握
- ・「沼田市地域クラブ活動推進協議会」の設置
- ・「沼田市立中学校部活動地域展開推進計画」の策定

令和6～7年度

- ・部活動指導員や外部指導者により、休日部活動を地域クラブで実施



- ・「沼田市地域クラブ活動推進協議会」における情報共有・連絡調整、協働体制の整備

## Q & A

Q 平日の部活動も、地域展開（地域移行・地域連携）していくのでしょうか。

A まず、休日の部活動の地域展開（地域移行・地域連携）に取り組んでいきます。

Q 地域移行と地域連携の違いは何でしょうか。

A 「地域移行」は、地域の多様な団体が、学校と連携しながら運営・実施する地域クラブ活動によって、生徒の活動機会を確保するものです。

「地域連携」は、部活動指導員や外部指導者の導入や、複数校で実施する合同部活動の導入などによって、学校で部活動を運営・実施しつつも、生徒の活動機会を確保するものです。

本市においては、学校規模や地域の実態などが異なるため、部活動改革を一律に進めることが難しく、地域移行と地域連携が混在するかたちで、部活動の「地域展開」を進めていきます。

Q 地域クラブ活動に移行した際、保護者の経済的負担はどのようなのでしょうか。

A 沼田市地域クラブ活動推進協議会等において、適切な運営の在り方について検討していきます。

Q 地域クラブの活動中の事故やケガは、どこが対応するのでしょうか。

A 学校で行われる学校部活動中の事故やケガは、学校及び教育委員会が対応します。地域クラブ活動においては、原則として運営・実施する団体の対応になりますが、事故等に備えた保険に加入することを強く促し、生徒の安全や体調管理を最優先にした取組になるよう、教育委員会が指導・支援していきます。